



熊本・大分地震から一周年の現地報道(2017年4月14日付)

思いやりを忘れ「自己責任」を迫る社会

熊本移住者 大島 健二郎

神戸国際支縁機構は東日本大震災の三大悲劇、フクシマ原発、石巻市大川小学校、渡波の被災としています。そのうち84名の犠牲者を出した大川小学校に甥、めいが通っていた女性に第73次ボランティア参加者たちは4月17日に出会いました。小学校を見ると涙が思わず頬を伝わりと言われます。小学校から4キロ。海岸線にあった長面集落は海面下に没しました。6年間住まう仮設住宅から時々戻ってきている濱畑千代子さん(58歳)は全壊家屋に時々戻ります。10メートルの松林を越えて襲った津波の恐怖体験を語りました。釜谷地区は179名が津波の犠牲になりました。もう住人はいません。今でも満潮時に二階



熊本県益城町惣領 2017年5月1日現在

したちは見捨てられた」と吐き捨てるように言われたことを岩村義雄会長が報告してくださいました。

熊本市益城町でも僕たちは同じ言葉「わたしたちは見捨てられた」を2017年2月に耳にしました。全壊家屋に10万円だけが支給されるようになった月です。

復興は自己責任とばかり、マスコミも防災グッズなどを書き立てます。フクシマの放射線被ばくは風評被害、言われもないいわさ、実証できない被害なのでしょうか。2020年の東京オリンピック、スポーツ番組、茶の間のコマーシャルに浸っている都会人には他人事に映ります。今村雅弘「1947年生」前復興大臣はテレビ番組で「ふるさとを捨てるのは簡単だ」とか「自己責任」論を放つたりしていました。安倍晋三首相は今年の東日本大震災の式辞で、原発事故についてひとことも触れていません。震災メモリアル3月10、11日の恒例の記者会見も今年はありませんでした。10年の時限立法で設置された復興庁は2021年にはなくなりません。しかし、原発の廃炉は40年以上も要するのです。除染で山積みになっている廃棄

は海水で覆われます。家族は当初、復旧を待てばよいと信じていました。今になつて解体するよう行政から言われても、解体費用が一銭もありません。「わた

物の処分も目処が立っていません。

熊本県益城町37人(直接死20人、震災関連死17人) 西原町8人(直接死5人、震災関連死3人)『西日本新聞』(2017年4月16日)。
6千戸以上の住宅が全半壊。

東北と熊本・大分はまったく同じ
解体にも負担がかかる

被災者の孤立死2017年4月、プレハブ型の仮設で「孤立死」(男性61歳)をはじめ、みなし仮設で少なくとも13人は独居のまま亡くなっています。届かない支縁、尽きぬ不安、続く足踏みに無関心ではすまされません。

2017年2月に、3人で傾聴ボランティアした熊本市中心街に近い地域でも、全壊のマンションがありました。まだ更地にもなっていない。震災前、熊本市東区西原1丁目時計修理店を営んでいた吉田高範さん(76歳)は、駐車場に4月から仮の店を開かざるをえませんでした。

被災者への経済的な支援制度は世帯が単位です。熊本市にマンション住人が要望すると、「共有部分には出ない」と相手にされません。関西、関東など都心部では、世帯のほとんどがマンション暮らしです。行政の支援体制は戸建てを前提としています。南海トラフが襲った場合、どうするのでしょうか。

また「自己責任」とか「想定外」だ、と政治家や「官」に言わせてはなりません。



吉田さんの仮店舗

法律相談初回無料。
お気軽にご相談下さい。

シャローム総合法律事務所

みやが たかし まつ た やす お
弁護士 宮永亮史 弁護士 松田康生

〒650-0016 神戸市中央区橋通1-2-14
0120-997-181
TEL 078-351-1325 FAX 078-351-1270

ゴーフル®

いいものは
時代をこえて
生き続けます

創業明治30年 おかげさまで創業 120年

神戸且月堂

URL <http://www.kobe-fugetsudo.co.jp>

SERVING MANKIND

Humanity First

「ヒューマニティファースト」
日本アハマディア・ムスリム協会

KINSAN

夢に近づく
夢を産み出す...

近畿産業信用組合

総合コールセンター
0120-111-019



ベトナム、バヌアツ、バヌアツで進む 孤児の施設と「カヨ子基金」が始動

第4次ネパールボランティア(2017.1.8~14) 平澤 久紀

真に厳しい体験でした。この1週間は私のこれ迄の人生経験を超えたものでした。私が岩村先生の話を聞いてネパールへの同行を決めたのは、出発の1週間前でした。

本当は余りしつかり聞いていなかったのです。私はのんびりしたところがあるので、適当に返事したのでした。中国の成都で仮眠してカトマンズに入国したのが1月8日。雑踏と喧騒の中で30分も進むと、埃の中で道路沿いに店を開いている。思い思いに敷物を敷き、生活用品を売っている。こんな埃の中でも買い物をする人がいるのだ。

その夜は、ダリットの施設の中で泊めてもらう。彼らは、犬以下の不可触民。岩村先生は何処へでも潜り込む。特殊交渉能力があるのか。他人が躊躇することも、さらつとやつてしまう。先生には、怖いとか躊躇とかの言葉が通じないようだ。

先生は神様に全てを委ね物事を進めるから怖いものが無いのだ。死ぬことを何とも思っていないのじゃないか。そんな場面をこの後、私は、何度か経験することになる。

翌日、50人ほどの子供たちと先生方、お母さんが出迎えてくれて、歓迎会が始まった。歌と踊りに私も歌の返礼。この周辺は地震によって壊滅的に破壊されてしまった。住民は家族の形で助け合って生きてきた。あちこちで、「ナマステー」「ナマステー」の挨拶が飛び交う。私たちはチルドレンホーム建設候補地を2箇所見て回ったが、奥地に広くて平らな場所が見つかった。良い所だ。カトマンズのハリ・マハラジャンの事務所に戻り、役人に来てもらって「契約書」を作成する。私と岩村先生の合作でOKになった。

出会ったある女性は2人の子供を産んだ後、病気になるまで妹に看てもらっている。ここに



初日の夜、ダリット層の貧民窟に泊まる。「ボランティア道」とは、ホテルなどに一切宿泊せず、寝袋で貧しい人達と起居を共にする苦縁。

は、差別も無く普通に生活できる社会がある。貧しいが助け合いの社会が残っている。私は昭和18年生まれ。子供の頃、皆貧しくても元気があった。食べ物に少なかったが不満は無かった。親達も生きるのに一生懸命で、子供達は放つたらかされた。だから、子供達は自分達だけで野山を駆け、田んぼを走り、トマトを盗み、柿を取って食べた。誰も文句も言わず、見逃してくれた。「貧しくても楽しかった。」

「何でも自分で作った。」
「自由だった！」
「ネパールにはそんな空気が存在する。私の子供の頃と違うのは、上に立つ人の質が違う。日本から送った援助金が末端の貧しい人に届かない。そんな社会は異常だ。」
日本の皆さん！この貧しい子供達が教育を受け自分達の国を再建する応援を

(一社)神戸国際支縁機構

●ボランティアや移住者募集中

毎月、被災地へ赴きます。農林漁、および在宅被災者戸別訪問にご協力ください。医療関係者歓迎します。詳細はホームページ。

●被災地への支援物資もお願いします。

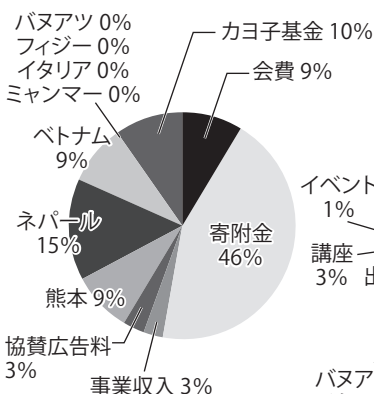
●年会費をお願いします。

会員(年度4月~翌3月)の皆さまには、季刊誌などをお送りします。
事務局長 本田 寿久

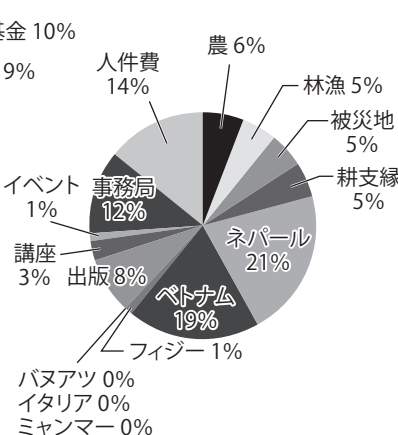
2016年度神戸国際支縁機構収支報告(単位円)

収入		支出	
会費	1,336,600	東 農	874,568
寄附金	6,742,301	林漁	683,042
事業収入	439,000	被災地	757,323
協賛広告料	250,000	耕支縁	764,307
熊本救援金	1,249,496	国 ネパール	3,077,848
ネパール救援金	1,893,110	ベトナム	2,772,073
バヌアツ救援金	1,223,600	バヌアツ	20,000
バヌアツ救援金	20,000	フィジー	156,093
フィジー救援金	56,000	イタリア	57,669
イタリア救援金	57,669	ミャンマー	5,000
ミャンマー救援金	5,000	出版	1,214,912
カヨ子基金	1,329,695	講座	446,103
(年度収入計)	14,602,471	イベント	148,727
(前期繰越金)	97,301	事務局	1,715,438
合 計	14,699,772	人件費	1,980,000
事務局長 本田 寿久		(年度支出計)	14,673,103
出 納 村上 裕隆		(次期繰越金)	26,669
監 査 白 承豪		合 計	14,699,772

2016年度収入



2016年度支出



ようではありませんか！子供達にチャンスを与えてあげようではありませんか！
きつと、あなたにも出来る事があります。
ほんの小さい事で良いのです。
次回5月のネパール訪問は、孤児のための施設オープニング・セレモニーにも参加させていただきます。



TAMANOHADA

代表取締役 三木 晴雄

〒130-0021 東京都墨田区緑 3-8-12
tel 03 3634 1345 fax 03 3635 4124
URL: www.tamanohada.co.jp

(株)吉原金属

神戸市北区道場町塩田2082

不動産 売買・賃貸・管理・店舗は

本田 商会

〒662-0051 西宮市羽衣町 5-23

電 話 : 0798-38-7560

F A X : 0798-38-7561

お気軽にご相談ください。

(有)吉田興業

神戸市兵庫区湊町1-1

ボランティア道の母逝く(その三)

山本 智也(初代リーダー、神戸市西区友清の農作物担当)

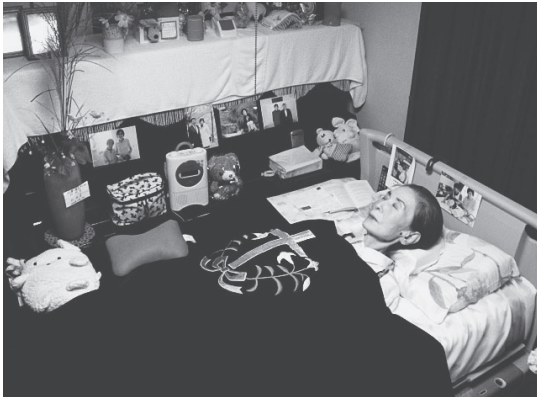
お二人が長年連れ添った自宅で看取られたことが私にとっては何よりも偉大なことと思えます。ヘルパーや病院に依存せずに、先生がそう願われたことはとてもうれしかったことです。私は東北ボランティアの影響で、卒業後、介護の仕事をしていました。約50人の利用者と生活をさせてもらっています。私の施設は介護老人保健施設で医療的なケアは看護師が行っています。利用者の中には「胃ろう」といつて口から食事が出来なくなった(二時

私は施設で亡くなられる方々に接して、最後の時にやはり家族が身近にいたべきと痛感しています。残念なことに、今の日本の経済と福祉は不十分のため、在宅で看取することは老々介護の問題など、現実的に難しいことは確かです。だからといって医療にすべてを丸投げして、他人の前で死ぬようなシステムは薄気味悪い、非情さを感じます。

奥さんからいつもいろんなモノをいただきました。食事、誕生日プレゼントなど目に見えるものではなく、いろんな精神的な強さ、困った人へのやさしさ、積極的な生き方について身をもって教えていただきました。

私たちだけではありません。初対面で接する人たちも「この人のためなら……」と感じさせる不思議なオーラがありました。

壮絶な死に方を通して、生きるいのちの大切さを教えていただきました。夫や、他人であつた私たちに徹底的に尽くされ、本当にお疲れさまでした。この恩は生忘れません。



自宅で息を引き取る岩村カヨ子夫人

講演・講座の案内

●6月14日(水) 午後1時～2時半

宮城学院女子大学
講演 岩村 義雄
「石の叫びに敏感になろう」

●6月22日(木) 午前10時～

宮城県石巻市
お話し 岩村 義雄
「てんでんこによる直後と今」

開北会館
〒986-0806 宮城県石巻市開北2-15-19
Tel: 022-594-2444
主催: 住吉第二民児協議会
会費: 無料

●本田哲郎セミナー

毎月第3金曜日 午前10時～正午
神戸市勤労会館 404号室

救援金、維持会費ご協力感谢您します。(敬称略)

2017年1月22日～4月22日

前哲夫、高島邦夫(3)、塩屋キリスト教会(2)、中島信光、日本基督教団神戸栄光教会、神戸新聞会館聖書のことばシリーズ、岩村義雄(3)、神戸国際キリスト教会(2)、神戸聖福教会、李敬淑、有限会社吉田興業、吉田明、村上裕隆、本田寿久(2)、本田洋子、豊原大成(西福寺)、辻良雄(8)、宮田佳典、村上安世、近畿産業信用組合、さかいようこ、岡野彩子、「小さくされた人々のための福音」講座(3)、安田吉三郎、池永タケコ、三木美保、斉藤真紀子、石川久子、本田哲郎、酒井彰、酒井久美子、宮本博美、森本修三(丹波)、三嶋充宏(熊本県益城町)、本田寿久、西上千栄子、辻良雄(8)、水垣渉、河内常男、宮坂信章、本田寿久、島田信一(2)、石巻森林組合、保田薫、春名純人、藤本英樹(2)、岡崎孝、守屋香代子、笹井くみ子、篠竹中工務店、阿部純子、松村淳子、武智務、村田充八、保田茂、上原俊基、谷合公江、小勝とも子、西上千栄子、吉田徳夫、藤本英樹、木村豊治、日本ナザレン教団神戸平野教会、吉持志保、土手ゆき子、森本拳士朗
フードバンク関西からの炊き出し用物資感謝。金斗鉦画伯、菅原よ志子夫人から故菅原流人画伯の絵画、チュチュアンナの上田利昭社長からの靴下、ネパールの孤児のための施設に提供。

計767,600円(カヨ子基金を除く)

「カヨ子基金」

菊池則子、南村洋子、杉浦征子、古本佳世子、三浦照子、武田多美、今野順子、春原和子、森祐理、塩屋キリスト教会、中島信光、山本桂、高島邦生、岩村義雄、神戸国際キリスト教会、寺岡秀祐、森川甫、日本基督教団神戸栄光教会、中田美子、神戸聖福教会、李敬淑、村上裕隆、本田寿久、本田洋子、宮田佳典、辻良雄、さかいようこ、岡野彩子、原田洋子、酒井彰、酒井久美子、池永タケコ、村上安世、安田吉三郎、池永タケコ、三木美保、斉藤真紀子、新井眞由美、本田哲郎、水垣渉、西上千栄子、中山圭子、島田信一、保田薫、山本智也、佐野良子、守屋香代子、塩見みよこ、中村和子、村田充八、岡本玲子、北川禮子、土手ゆき子、北村徹、日本ナザレン教団神戸平野教会、吉持志保、西崎京子、犬童幸二

編集後記

里親募集

「カヨ子基金」は海外の孤児たちの教育費に用います。孤児たちが大人になるまで里親になってください。日本と比べて、物価は十分の一ほどもです。ネパール、バヌアツ、ベトナムなどの自然災害などで親を失った貧しい子供たちが大人になることができるように、毎月、一口3千円ずつ自動引き落としを通じて、あなたのお心をお伝えください。「カヨ子基金」は日本国内の人件費、運営費、交通費には一切用いられません。

「カヨ子基金」により、海外の被災地において、弱者に寄りそう活動ができます。怒り、くやし、悲しみで大人になれない子供たちが安心して生活、教育ができるよう切にお願いいたします。 宮田 佳典

趣旨に賛同して下さる方は、何口でも結構ですので、ご協力をお願いします。

本会員は、一口2,400円/1年 賛助会員は、一口5,000円/1年

・郵便振替 口座 00900-8-58077 加入者名 一般社団法人 神戸国際支縁機構

・三菱東京UFJ銀行

462(三宮支店) 普通 3169863 神戸国際支縁機構 岩村義雄

海外の災害緊急募金には必ず「国名」を書き添えてください。

「カヨ子基金」

・郵便振替

口座14340-96549731 加入者名 カヨ子基金

・みなと銀行

明舞支店(175) 普通 3921374 カヨ子基金

・三菱東京UFJ銀行

三宮支店(462) 普通 3422530 Kayoko Fund

・三井住友銀行

神戸営業部(500) 普通 9821847 カヨ子基金

・みずほ銀行

神戸支店(490) 普通 1817303 カヨ子基金